

令和6年度 自己評価及び学校関係者評価書

令和7年3月25日
札幌市立北野中学校

1 今年度の学校経営の方針

- (1) 学ぶ力の育成に向けて、教職員全員の熱意と創造に満ちた教育活動の推進を目指す。
- (2) 生徒、教職員相互の信頼関係を基盤とした人間関係を醸成し、心のふれあいを大切にした教育活動を通して豊かな心をもつ生徒の育成を目指す。
- (3) 生徒一人ひとりの個性を見取り、自ら考え、判断し、行動できる生徒の育成を目指す。
- (4) 健やかな体づくりを推進するとともに、生徒の教育的ニーズに的確に応える学校を目指す。
- (5) 関係小学校ならびに家庭・地域社会との連携に努め、学校教育への理解と協力を得て、信頼される学校を目指す。

2 今年度の重点目標

- (1) 自ら学び、共に生きる力を培う学校づくり
- (2) 信頼と協働の精神に満ち、豊かな心をはぐくむ学校づくり
- (3) 生徒理解を基盤とした学校づくり
- (4) 健やかな体の育成と生徒の発達への支援を行う学校づくり
- (5) 信頼される学校づくり

3 自己評価結果に対する学校関係者評価

重点	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善の方向	自己評価の適切さ	改善策の適切さ
自ら学び共に生きる力を培う	教育目標や経営方針、重点は適切である。(学校生活は充実している)	A	札幌市の[学校教育の重点]や共通指標に基づいた「学習等に関するアンケート調査」、「全国学力学習状況調査」を基に生徒の状況について分析、生徒に必要な力について教職員の研修会でも交流を行なった。今後も継続し、目標、方針についても見直しを図っていききたい。	A	A
	授業に対して、集中して意欲的に取り組めるような工夫をしている。	B	どの学年も授業は概ね落ち着いて取り組めている。研修会の中でも、指導改善に向けた情報交換を行なっているが、課題探求的な学習の実現にむけ、より一層指導方法の改善を図りたい。	A	A
	適切な評価・評定を行い、生徒が次の学習に目標がもてるように努めている。	A	評価評定のための資料を精査し、信頼性と妥当性の確保に努める。指導と評価の一体化を図り、生徒が自分の学習に見通しをもち、主体的に学習に取り組める手だてを検討していく。	A	A
	総合的な学習の時間は、生徒の興味・関心を生かした適切な指導計画と学習内容である。	B	昨年度に引き続き、職場体験を実施し、将来の職業選択に向けて意義な活動とすることができた。今後も地域の協力を得ながら、継続的に取り組んでいきたい。その他の学習については、探求的な学習としてより質の高い授業の実現を図っていききたい。	A	A
信頼と共同の精神	自主的・積極的な生徒の育成のために、適切な生徒会活動が行われている。	A	生徒会行事や日常の委員会活動を円滑かつ活発に行うことができた。陸上記録会、文化祭、合唱コンクールも従来通りの形式で実施、生徒も意欲的に取り組むことができたので、継続していききたい。	A	A
	ボランティア活動を通じて、奉仕の精神やつながりを大切にする心が育っている。	A	今年度は、除雪ボランティア、北野ふれあい夏祭りの他、北野福祉祭りなど地域のボランティア活動や校内清掃活動にも取り組むことができた。今後も、可能な限り奉仕活動を活発化させ、コミュニティ・スクールを視野に、地域にも活動を広げられるようにしていきたい。	A	A
	北野中学校の生徒会活動は活発に行われている。	A	日常の委員会活動、生徒総会、募金活動等において生徒の参加意欲が高く、役員生徒、委員生徒の意識が高かった。次年度も継続していききたい。	A	A

重点	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善の方向	自己評価の適切さ	改善策の適切さ
生徒理解を基盤とした心身共に健全な学校	教育相談週間や日頃の相談活動を通して生徒理解に努めている。	A	教育相談にあたっては、教育相談アンケートで生徒の状況把握を図り、生徒の実態把握のため、生活状況調査や生徒個人、また個人を取り巻く環境(学級)に関する調査を継続して行なっている。今後も、信頼関係の構築を大切にしながら生徒理解に努めていきたい。	A	A
	生徒たちに対し、積極的に声かけをしている。	A	全学年とも授業間、昼休み時間等、学年教師が常に教室や廊下に常駐し、積極的に声掛けを行うことができた。また、日常の授業においても生徒の見取りを大切にしながら、指導を行なうことができた。今後も継続していきたい。	A	A
	道徳の授業を通して、思いやりの心や人との繋がりを大切にする心を育てている。	A	道徳授業に関して、授業の交流、研究授業等を行い、指導方法の改善を図った。授業のみならず、日常生活の中でも折に触れ、道徳心、思いやりの心を育てるよう、学校教育全体を通して考えていきたい。	A	A
	生徒指導上の共通理解が図られ、きまりやマナーを守る等の指導が、同一歩調でなされている。	A	マナーや時間に対する意識を高めさせ、同一歩調で生徒指導を行い、全体的に落ち着いた雰囲気の中で生徒は生活することができた。今後は、生徒がより主体的にきまりやマナーについて考え、判断できるよう研修等を通して改善していきたい。	A	A
	いじめや問題行動の未然防止・早期発見・迅速な対応に努めている。	A	毎月1回「いじめ対策委員会」を実施し、いじめ、問題行動の未然防止・早期解決につながった。今後も継続して行ない、子どもたちの小さな変化に目が届くように努めていく。	A	A
	生徒の健康・体力についての意識を高め、健やかな身体づくりに努めている。	A	今年度も、生徒が意欲的に取り組める体育委員会主催のドッジボール大会を行った。また、毎回の体育授業において体力向上の取組を継続し、全市、全国平均よりも高い数値となっている。今後も継続したい。	A	A
信頼される学校づくり	地域や保護者に学校の情報を積極的に発信している。期末懇談や授業参観の時期や回数は適切である。	B	今年度も、各種便りの他、学校HPを頻繁に更新することで、学校の様子を随時発信することができた。期末懇談、授業公開等についても例年通り実施され、たくさんの保護者の方に来校していただいた。すぐーる(新メールシステム)については、昨年度よりも活用回数は増えているが、今後もより良い活用の仕方を模索し、保護者との連携をより高めていきたい。	A	A
	事故防止のための安全管理に気を配っている。	A	6月と10月の2回避難訓練を行った。2回目はジュニア防災スクールとして火災・煙に対する訓練を実施し、より実践的な避難訓練となった。今後も防災・減災に向けた取り組みを実施していきたい。	A	A
学校関係者評価委員による評価	<p>・自己評価、改善策共に適切であると思います。</p> <p>・自己肯定感が高いのは、とてもいいところだと思います。学習面で計画的に取り組むのはかなり難しいと思います。(大人だってできていないので)</p> <p>・クロムブックの持ち帰りについては、課題を整理して取り組みを進めて欲しいと思います。</p>				